

マレーシアとの歩み /

三芳町とマレーシアの交流が始まったのは約30年前。きっかけはペタリングジャヤ（PJ）市と東入間地区の、青年会議所の姉妹提携でした。これからも未来へ向けて多くの絆をつないでいきます。

平成24年



町内中学生のマレーシア派遣開始

平成29年



PJ市と三芳町姉妹都市を提携

令和2年



2020年東京パラリンピックで共生社会ホストタウンに認定

令和5年



2025年東京デフリンピックトレーニングキャンプに関する協定締結

POINT/ マレーシア・PJ市って どんなところ？

マレーシアはマレー半島とボルネオ島の一部から成り立っています。日本からは飛行機で約7時間。人口は約3,350万人でマレー系・中国系・インド系など多数の民族で構成されている多民族国家です。PJ市はクアラルンプールの隣にあり、人口は約60万人です。



絆のまつり

第31回みよしまつり

町の一大イベント「みよしまつり」。31回目を迎えた今年も、たくさんの方が訪れました。今回は特別に姉妹都市のマレーシア・ペタリングジャヤ市からダンサーを迎え、国際交流を実施。町の人々とたくさんの絆が生まれました。

海を越えた絆

「みよしまつり」はとても素敵なイベント。盆踊りや御輿など、日本の文化は本当に魅力的です。ね」と目を輝かせるダンサーたち。三芳町には9月6日（金）～9日（月）まで滞在し、地域の人々や子どもたちと交流を深めました。マレーシアからやってきたダンサーたちが町の人々をつないだ絆……。今月の特集では、まつりを中心に生まれた、たくさんのお出合いを振り返ります。■



芳の夏と言えば、みよしまつり。毎年住民の数より多くのお客様が訪れる、町の一大イベントです。

9月7日（土）。第31回目となったみよしまつりが晴天に恵まれた中で華々しく開催されました。屋台が立ち並び熱気に包まれた会場。そこに集まった人々を盛り上げたのは、お囃子や太鼓、ダンスなどのパフォーマンスの数々です。今回は特別ゲストとして姉妹都市であるマレーシアのペタリングジャヤ市（以下PJ市）からダンスチームが参加。エキゾチックなパフォーマンスで来場者を沸かせました。